県央

社会を明るくする運動 強調月間で市民大会

高崎 「社会を明るくする運動」の強調月間（7月）に合わせた市民大会が7日、高崎市の高崎シティギャラリーで開かれた。罪を犯した人の更生をサポートする保護司や、警察関係団体のメンバーら約300人が参加し、安全で安心な地域社会の実現に向けて気持ちを新たにした。

大会を記念して、高崎北署の地域課群馬交番の飯塚芳隆巡査部長が防犯マジックショーを披露した＝写真。トランプをすり替える手品にちなみ、詐欺被害を防ぐポイントを解説した。同市上中居町の角田純子さんは「マジックを交えるから分かりやすい。楽しかった」と話した。

同運動推進委員会が主催。閉会後、同市役所周辺で保護司を紹介するうちわやティッシュを通行人に手渡した。（狩野東吾）

手品で防犯訴え

座繰りで生糸 引いて作品に

高校生参加、11日まで催し

前橋 蚕から座繰りで生糸を引き、アート作品にするイベントが7日、前橋市のJR前橋駅前の施設「ヒストリア前橋」で始まった。訪れた高校生らが座繰りを体験＝写真、七夕の願いを込めて作品を作る。11日まで。

「前橋・光のバトン」と題して初めて開催。今年の蚕糸から同市朝倉町で本格的に蚕糸を始めた伊勝さんが企画した。座繰り体験には、6月中旬に収穫した繭「こんま20」を使った。

乾燥させた生糸をハートの形に並べて期間中に作品を完成させる予定。伊さんは「奈良時代から伝わる技芸の上達を願う七夕行事を現代風にした。生きた文化を伝えていく」と意気込んだ。

来館者は、七夕の短冊のように桑の葉に筆で願い事を書いて蚕糸業の世界に触れた。

会場はヒストリア前橋が無償で貸し出した。同館の椿聡士副館長はかつて前橋が製糸業で発展した経緯を振り返り「前橋の歴史を後世につなぎたい」と話した。

午後3時半～7時。最終日午前10時～午後4時。問い合わせは伊さん（☎027・888・8853）へ。（北沢彩）

ソテツ3輪 同時に開花

高崎市の狩野さん宅

高崎 10年に1度花を咲かせるというソテツが、高崎市南の庭で3輪同時に開花した。立派に咲いた花を妻の洋子さん（83）と和やかに眺めている＝写真。

松ぼっくりのような黄色の見た目が特徴で、最も大きな花は長さ約40㌢。最後に花を咲かせたのは10年ほど前で、その時は1輪だけだったという。

狩野さんは「三つ同時に咲いているのは珍しい。二度と見られないと思う」と興奮した様子で話した。（狩野東吾）

40周年を祝い 70人思い新た

伊勢崎法人会女性部会が祝賀会

伊勢崎 伊勢崎法人会女性部会の40周年祝賀会が7日、伊勢崎市の結婚式場で開かれた。出席した約70人がこれまでの歩みを振り返り、次の10年に向けて思いを新たにした。

同会は1986年5月に婦人部会として結成され、96年に女性部会に改称した。部会内での研修会や講演会に加え、小中学校での租税教室など社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

小谷野栄子部会長は「私たち女性部会は人の心を豊かにしてくれるサクラのような存在でありたい」とあいさつ＝写真。創立40周年実行委員会の杉原みち子委員長が最近10年の活動を紹介し、会員が今後の活動の充実を誓った。（関口健太郎）

個性と思い詰まる 障害者アート並ぶ

「工房あかね」が展示会

高崎 障害がある人のアート活動を支援するNPO法人「工房あかね」（高崎市上町）の展示会が7日、同市東貝沢町の茶房ギャラリー千楽で始まった。同法人の通所施設「アトリエ アート・オン」を利用するアーティストが制作した絵画、Tシャツ、ポストカードなどを紹介している＝写真。12日まで。

陶器や猫をモチーフにした作品を展示。絵の具を飛ばして力強く表現する小柏龍太郎さんの作品もそれぞれの個性と思いが詰まっている。お気に入りの作品を見つけてほしい」と話した。午前10時半～午後6時。（稲村勇輝）

交通安全へ五か条宣言

市老人クラブ連合会が大会

前橋 高齢者の安全意識を向上させ事故を未然に防ごうと、前橋市老人クラブ連合会（後閑千代寿会長）は7日、本年度の高齢者交通安全推進大会をケーピックまえばし福祉会館（市総合福祉会館）で開いた。市内の老人クラブ会長らが交通ルール順守へ気持ちを新たにした。

城南地区老人クラブ連合会長の高坂明夫さん（75）が「交通ルールを守り譲り合いの精神で行動」「運転適性診断で自分の運転をチェック」など「交通安全五か条」を大会宣言として読み上げ、採択した＝写真。

前橋署、前橋東署の署員の講義も行い、参加者が自転車の交通違反や反則金制度改正、特殊詐欺被害対策などを学んだ。（北沢彩）

利用者負担減へ浴槽一新

特別養護老人ホームふるさと

高崎 「高崎市綿貫町、岡野考朗施設長）は、利用者が入浴する特殊浴槽をリニューアルした。設置作業が7日に行われ、介護福祉士らが説明を聞いた＝写真。

開所当初からの浴槽は老朽化が進んでいた。設置した新浴槽には、ジャクジー機能も付いている。関根理永副施設長は「利用者さんの負担も少なくなり、スタッフもスムーズに使えるのでは」と話した。

浴槽は8日から利用する。競輪とオートレースを統括する公益財団法人「JKA」の補助事業に採択され、補助金を活用した。（中村悠海）

河川敷美しく 花の苗植える

県立県民健康科学大生ら

前橋 地域の河川を美しくしようと、県立県民健康科学大の学生ら約30人が、前橋市上沖町の同大近くの桃ノ木川河川敷で色とりどりのニチニチソウの苗約240株を植えた＝写真。

学生サークル「桃ノ木リバーを愛する会」（榎岡光会長）のメンバーが汗を流した。川沿いの住民らでつくるNPO法人「桃ノ木川を愛する会」（小見政一理事長）から感謝を受けた苗で、会員の助言を受けながら、白、紫、桃など花の色が隣り合わないように配置した。

同サークルは草刈りなど川の環境美化を推進している。榎岡さんは「携わる人たちと楽しんで取り組みたい」と話した。（北沢彩）

「当たり前と思わず危険の予測が大切」

高崎工業高で交通安全教室

高崎 自転車の交通安全教室が7日、高崎市の高崎工業高（中村正典校長）で開かれた。ライズ総合保険（同市岩押町）の営業部マネージャー、武山雄海さんが講師を務め＝写真、2年生約230人が交通事故の危険性や問われる責任について認識を改めた。

武山さんは実際に中高生やその家族が高額な賠償を求められた事例を紹介。本県は自転車事故の発生件数が多いことも示した。

日本と他国で交通ルールが違うことにも触れ「たった1回の事故が人生を一瞬で変えてしまう。当たり前と思わずに危険を予測することが大切」と呼びかけた。（中村悠海）

朔太郎と散歩道 中山さんが講演

18日、前橋文学館

前橋 前橋市出身の詩人萩原朔太郎（1886～1942年）の生誕140年記念展「ふらふらふらめ～朔太郎の危険な散歩」の関連イベント。

中山さんは、朔太郎の移住後も、都内で散歩を楽しむなど朔太郎とエッセイストでイラストレータの共通点が多く、散歩！、中山康子さん＝写真＝による講演会「散歩」をテーマにしたエッセー集も出版した。講演では朔太郎の散歩道から、散歩と創作について自身のエピソードを交えて話す。

午後2時開演。先着100人（要予約）。当日の観覧券（700円）が必要。高校生以下無料。問い合わせは同館（☎027・235・8011）へ。（水村希美）

同窓万歳

▷安中市立第一中学校安中教場▷昭和47年度卒業▷6月9日・安中市▷桜井幹男（安中市・69）▷4年ごとの開催で10回目。古希を迎えて懐かしい顔ぶれに再会し、思い出話で盛り上がりました。

▷鳥淵村立鳥淵中学校（高崎市）▷昭和28年卒業▷5月29日・高崎市▷高橋ミドリ（高崎市・89）▷北海道からも参加。皆で楽しくおしゃべりしました。総年齢890歳、万歳！

▷富岡市立黒岩小学校▷昭和39年度卒業▷6月13日・甘楽町▷斉藤俊一（富岡市・73）▷母校が統合廃校になるこの時期に懐かしい顔が集合。近況を語り合い次回再会を約束しました。

▷伊香保町立伊香保中学校（渋川市）▷昭和55年度卒業▷6月6日・渋川市▷真瀬智子（渋川市・60）▷還暦記念の第1回同窓会を伊香保温泉で開催。宴会と団別競技で旧交を温めました。

▷草津町立草津中学校▷昭和50年度卒業▷6月14日・草津町▷山崎浩（草津町・66）▷8年ぶりの同窓会に45人が参加。恩師を囲みゴルフや宴会、2次会、3次会まで楽しいひとときを過ごしました。

▷高崎市立第一中学校▷昭和46年卒業▷6月7日・高崎市▷小島徳生（高崎市・70）▷14年ぶりの同窓会。69人が参加。昔話や「あの頃クイズ大会」の余興であっという間の3時間でした。

わが家の主役

堀田 美聖ちゃん（板倉）
令和7年7月8日 お誕生日おめでとう♡

宿原 天瑚ちゃん（榛東）
令和6年7月8日 わが家のアイドル！

岡田 つきのちゃん（高崎）
令和7年7月8日 笑顔をありがとう！

大井 智結ちゃん（渋川）
令和7年7月8日 家族みんなの宝物だよ

清水 悠陽ちゃん（高崎）
令和7年7月8日 にこにこ笑顔大好き♡

真崎 聖ちゃん（神奈川県）
令和6年7月8日 毎日かわいい更新中♡